

【取組内容】 情報活用能力育成表を意識した全校指導体制の構築（② 情報活用能力の育成）

**R5年度
情報活用能力育成の段階表策定**

[illegible]

情報活用能力育成の段階表

R6年度

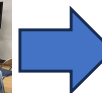
- 1 コアメンバー（管理職・教務主任・研究主・副主任）結成
- 2 コアメンバーによる授業観察（随時）
- 3 コアメンバー会議（月1回）で短期目標、中・長期目標を決定
- 4 研究推進タイムで職員に伝達・取組内容の共有
例：児童の達成状況をチェック（R5からの取組）
＋能力育成に活用できた教科・教材名を追記しデータ蓄積



コア会議



研究推進タイム



職員同士の話し合い
が活発に

分類			小学生		活用できる授業
観点	資質・能力	要素	1年生		
			STEP 1		
基本的 操作	知識・技能	情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能	情報機器の基本的な操作	☒ ID・パスワード入力(ログイン)・終了(ログアウト含む)の基本操作	
			情報機器の基本入力技能	☒ 写真、動画の撮影・閲覧などの基本操作	生活科:秋みつけ
			アプリケーション使用における基本操作	☒ タップ、スワイプ、ピンチイン・アウトアプリケーションの選択・終了	生活科:秋みつけ
			アプリケーション等の使用・操作に係る技能	☐ 動画編集ソフト、画像編集ソフト、音楽編集ソフト(ロケット・Classroom・デジタル等)等の基本操作	
			検索関わる操作技能	☐ Webサイト閲覧・リンク集活用	国語科:いろいろなふね
				ファイルの呼び出し及び保存	☐ 画像やファイルの呼び出し(開く)・保存

↑ 1年生

4年生→

観点	資質・能力	要素	分類	小学生		活用できる授業		
			つづいた力	4年生				
				STEP 2				
問題解決・探究における情報活用	知識・技能	情報活用の方法	見通し・計画（立案）	☒	目的を意図して、情報活用の計画を立案できる	社会：奈良県の市町村 スライド		
			収集	☒	調査や資料などにより情報を収集できる	社会：調べたそう、生活調査隊 デジタルホワイトボードソフト（アンワーク）		
			整理	☒	表やグラフなどを用いて情報を整理できる	国語：調べたそう、生活調査隊 デジタルホワイトボードソフト（アンワーク）		
			分析・読み取り	☒	2～3点の情報から、傾向、変化を捉えらる	国語：調べたそう、生活調査隊 デジタルホワイトボードソフト（アンワーク）		
			表現（まとめ）	☒	相手や目的を意図して表現できる	学活：自主学習 スライド		
			発信	☒	相手や目的に応じて安全に情報の発信、伝信ができる	国語：編成で宇宙へ デジタルホワイトボードソフト（共有ノート）		
			クラウド	☒	クラウド等を用い、ファイルを検索できる	国工：デジタルゲーム（鑑賞） スライド		
			評価・改善	☒	情報活用を振り返り、改善点を見いだせる	社会：奈良県の市町村 スライド		
			思考力・判断力・表現力等	情報を活用する力	情報を客観的に捉え、分析・判断する力（批判的思考）	☒	事実や根拠に基づき、適切に分析・判断できる	国語：調べたそう、生活調査隊 デジタルホワイトボードソフト（アンワーク）
					情報を結び付けた新たな意味を見いだす力（創造的思考）	☒	いくつかの情報を比較したり、関係付けたりして、新たな意味を見いだせる	国語：意味調べ web活用
学びに向かう力・人間性等	情報活用の態度	多角的に検討しようとする態度	☒	事象のつながりを見え、検討し、考察しようとする	国語：未来につなぐ工芸品 スライド			
		試行錯誤し、改善しようとする態度	☒	情報活用を振り返り、改善点を見いだそうとする	国語：未来につなぐ工芸品 スライド			

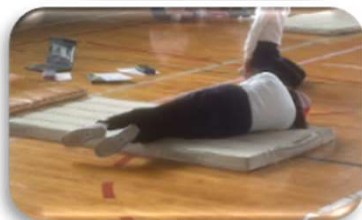
リーディングDXスクール事業【実践事例】

三宅町立三宅小学校（奈良県）【指定校】

【取組内容】 リアルな学習活動の時間を確保するための動画教材等の有効活用（③A 動画教材の活用）

【思わぬ副産物】
～教師のつぶやき～

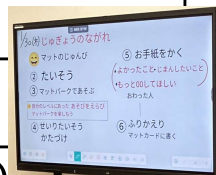
指示しなくても、児童が動けることがわかった。



いつも以上に、児童が前のめりだったなあ。

【思わぬ副産物】
～教師のつぶやき～

授業の流れ	視覚・動画教材活用の利点
場づくり・準備運動	
掲示した本日の流れとめあてを確認	○ 短い指示でOK（時短＝活動時間の確保） ○ 何度も確認が可能（心理的安全性・個別最適）
動画教材視聴 （様々なマット遊びを知る）	○ 教師の模範演技を見るための移動や「静かにさせる」指示が不要（時短＝活動時間の確保） ○ 全種類見てからするか、1種類ずつ見るかを自分で決定可能（自己決定・個別最適） ○ 繰り返し・拡大・再生速度の調整など、自分に合った方法を選択（個別最適）
自分のやりたいマット遊びに挑戦	○ リアルな活動時間の確保
撮影動画を見て気づいたことを投稿	○ 複数の意見を一度に得られる ○ 投稿内容について対話が生まれる（協働）
友だちの指摘をもとに再度挑戦	○ 指摘内容を踏まえて、動画を見比べることで気づきが生まれやすい（深い学び）
振り返り	
整理体操・片付け	



【思わぬ副産物】
～教師のつぶやき～

指示の回数が減ったように思う。

